

# 第2次肝付町総合振興計画 (後期基本計画)

The 2nd Kimotsuki Town Comprehensive Development Plan  
(Late Basic Plan)

概要版  
Summary

”人そして地域活力の創出による  
地域力あふれる町“ 肝付町



令和4年3月  
鹿児島県肝付町



## 2. 肝付町の現状と課題

### 経済・産業

本町は、広大な自然を生かした魅力ある個性豊かな農林水産業を展開していますが、近年は高齢化に伴う担い手の減少や、主要な生産物の価格の低迷等が課題となっており、生産基盤・生産体制の強化や農林水産物の付加価値化・ブランド化等による経営の安定化・収益の向上が必要です。また、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた商工業の活性化や「新しい観光」への対応、内之浦宇宙空間観測所を核とした宇宙産業の振興、エネルギー地産地消モデルの構築など、地域資源を活かした個性と魅力ある産業の振興が重要です。

### 生活環境

少子高齢化が進む中、過疎地域において働く世代が減少し、社会的共同生活の維持困難が集落機能の低下や地域活力の衰退を招いています。それに伴い、交通手段の減少や小売店の閉店等により、買物難民や買物弱者の増加が問題となっています。また、住民の生命と財産を守る消防団員の減少や高齢化も進んでいる状況です。今後は、町事業として実施している事前予約型乗合タクシーやおでかけタクシーの促進による交通不便地区の解消を図るとともに、近年増加する異常気象による自然災害に対応するための自主防災組織や情報システムの整備を進めていくことが重要です。

### 保健・福祉

雇用情勢の悪化による若者の経済的不安、多様化する価値観や結婚観、子育てコストの増大などが要因で、未婚化・晩婚化が年々進行しており、孤独な子育て世帯も増加しています。また、高齢化の進展に伴い介護サービス等の利用者数増加が見込まれている一方で介護人材は不足しており、安定的な供給体制の確保が懸念されています。今後、子育て支援については、費用の助成やウェブサイト等の充実により安心して本町で出産・子育てができる環境を整え、高齢者福祉については、各種福祉施策の充実及び地域住民の自助・互助の意識向上へ向けた取組みを実施することが重要です。

### 教育・文化

少子化により小中学校の統廃合・廃校が進められている中で、今後も引き続き、児童生徒が安心して教育を受けることができる環境づくりを行うとともに、国際化・情報化を見据えた積極的かつ多様な教育の実践を行うことが重要です。社会教育については、施設の老朽化への対応及び多様化する町民のニーズを満たすための環境整備・管理体制の確立が求められています。地域文化の継承については、本町が有する地域文化財の普及啓発や後継者の育成により、町民が自ら地域文化を保護・育成していく機運を醸成することが重要です。

### 行財政・協働

人口の減少や長期にわたる景気低迷等により、自主財源である町税は年々減少傾向にある一方で、少子高齢化に伴う扶助費や地方債の償還である公債費などの義務的経費は増加しています。今後厳しい財政状況が予測される中で、公共サービスの見直しや民間活力を利用した行政サービスの向上を図ることが求められています。また、新型コロナウイルス感染症の影響により人々の活動が制限される中で、アフターコロナ・ウィズコロナを見据え、どのように域内・域外の交流活動及び地域コミュニティ活動を推進していくかについて慎重に協議・検討を進めていくことが重要です。

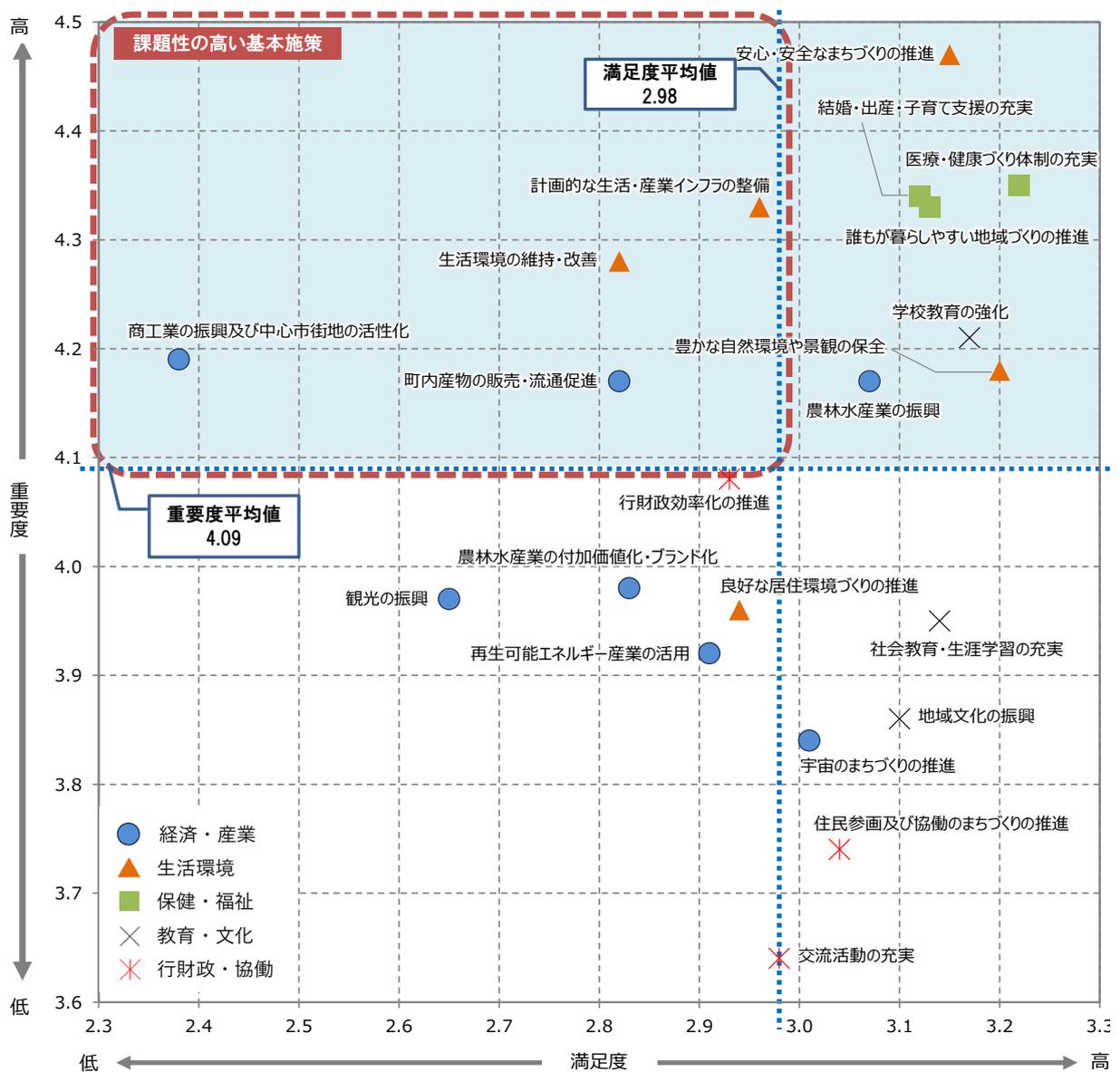
### 3. まちづくりに対する住民意識

住民アンケートでは、第2次総合振興計画に位置づけられている基本施策について、重要度、満足度の加重平均値に基づき分析を行いました。

重要度が高いと評価されている施策の上位5つは、「安心・安全なまちづくりの推進」「医療・健康づくり体制の充実」「結婚・出産・子育て支援の充実」「計画的な生活・産業インフラの整備」「誰もが暮らしやすい地域づくりの推進」であり、保健・福祉分類、生活環境分類が上位を占めています。

課題性の高い施策（平均より重要度が高く、満足度が低い施策）としては、「商工業の振興及び中心市街地の活性化」「計画的な生活・産業インフラの整備」「生活環境の維持・改善」「町内産物の販売・流通促進」の4つの施策があげられています。

■第2次総合振興計画の基本施策における住民の重要度と満足度の相関関係



【加重平均の算出方法】

- ①まちづくりにおける重要度  
 とても重要：2点  
 やや重要：1点  
 どちらともいえない：0点  
 あまり重要でない：-1点  
 全く重要でない：-2点

- ②現状の満足度  
 とても満足している：2点  
 やや満足している：1点  
 どちらともいえない：0点  
 あまり満足していない：-1点  
 全く満足していない：-2点

左記の点数に各選択肢の回答数を掛け、それらを合計して、全体の回答数で割り戻して「加重平均値」を算出

## 4. まちづくりの将来像と基本目標

平成28年10月に策定した第2次肝付町総合振興計画の基本構想では、地域の経済の振興、生活環境の維持・効率化や災害への対処、高齢者・障がい者等の生活や子育ての支援、地域の歴史や個性を大切にされた教育や文化の振興、住民との協働による効率的な行財政運営を進めることとし、『人そして地域活力の創出による“地域力あふれる町”肝付町』を将来像として掲げ、この将来像を実現するため、5つの分野ごとの基本目標に基づきまちづくりに取り組んできました。

後期基本計画においてもこの将来像や基本目標を踏襲し、この将来像を実現し、基本目標を達成するため、今後5年間の新たな基本方針を掲げ、後期基本計画の柱として位置づけます。

まちづくりの将来像と基本目標のイメージ	基本目標1 経済・産業
 <p>『人そして地域活力の創出による “地域力あふれる町”肝付町』</p>	<p><b>～地域資源のブランド化と融合により、新たな活力を創生するまちづくり～</b></p> <p>農林水産業の後継者の育成・確保や特産品開発・高付加価値化、新しい流通体系の構築、地産地消の取組み、きめ細かな商工業振興策を進めます。また、大隅地域全体での広域観光連携強化を進めるとともに、各地域にある資源を活用した地域発信型の観光振興等や、ロケット射場が立地するという特徴を活かした宇宙のまちづくりや、多様な自然資源を利用した再生可能エネルギーの活用を推進し、資源を活かした産業育成を図ります。</p>
基本目標2 生活環境	基本目標3 保健・福祉
<p><b>～人が行き交い、自然と共生する、笑顔あふれるまちづくり～</b></p> <p>広域交通網の整備や、生活・産業インフラの効率的な整備を計画的に進め、中山間地域においては、日常的な買物の場や公共交通手段等の確保を図ります。自然災害への対応のため、地域コミュニティと行政、民間事業者が一体となった防災活動組織を強化します。また、空き地、空き家等の活用システムづくりを進め、定住人口の維持・拡大を図ります。豊かな自然環境を観光・レジャーの面から積極的に活用するとともに、資源循環型のまちづくりを推進します。</p>	<p><b>～地域が一体となって支え合う健やかで安心なまちづくり～</b></p> <p>婚活事業の工夫や子育て世代への経済的支援の強化など総合的に支援するシステムの導入などを進めるほか、福祉制度の充実を図るとともに、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を図ります。また、地域医療体制については鹿屋市を中心とした広域連携の充実を図り、健康づくりや生活習慣予防を促進し、心身ともに健康な状態で暮らすための様々な取組みを実施します。</p>
基本目標4 教育・文化	基本目標5 行財政・協働
<p><b>～生きがいと心豊かな人材、伝統と文化を育むまちづくり～</b></p> <p>学校施設の老朽化対策や設備強化等を進め、教育方法の多様化、ICT化への対応やふるさと学習の推進など、小中義務教育学校における教育システムの充実を図るとともに、誰もが楽しみながら自由に学習・スポーツを続けられる機会の増大や各学習・スポーツ施設の老朽化対策等を図ります。また、肝付町独自の伝統や文化、歴史資源の継承や、文化活動の後継者の育成等を進めるとともに、地域の歴史・文化を観光資源や学習教材としての活用を進めます。</p>	<p><b>～地域が核となり、協働型社会を実現するまちづくり～</b></p> <p>行政運営における住民参画の仕組みを強化するとともに、地域コミュニティ協議会を中心としたこれからの地域づくりを担う組織や人材の育成を行うとともに、域内・域外、世代間、国際交流など様々な分野の交流事業の充実、拡大を進め、地域の活性化のための持続可能な組織づくりを行います。また、今後さらに財政事情が悪化することが予想されるため、一層の行財政の効率化や、公共施設等の適正化などを進めます。</p>



## 基本施策

①農業の振興 ②畜産業の振興 ③林業の振興 ④水産業の振興

①六次産業化・農商工連携の促進 ②地場産物のブランド化、PRの推進 ③地産地消の推進

①商工業の活性化 ②観光の広域連携・受入体制の強化 ③観光拠点・街並みの整備・改善

①『宇宙の町』きもつきファンづくりの推進 ②宇宙関連産業の誘致 ③大学・研究機関との連携促進

①エネルギーの地産地消の推進 ②再生可能エネルギー活用の推進

①道路網の維持・改善 ②河川・漁港施設・土地改良施設・公園等の維持・改善 ③給排水施設の充実  
④情報連携のためのデータ整備

①中山間地域における「小さな拠点」の形成 ②地域公共交通の充実 ③ごみ処理適正化の推進  
④豊かな自然環境と共生するまちづくりの推進

①災害に強いインフラの整備 ②防災活動拠点の強化と消防団活動の推進 ③交通安全・防犯、消費生活支援の充実

①計画的な住宅の整備 ②移住者の受け入れ支援の強化

①結婚応援戦略の実施 ②出生率増加策の実施 ③子育て支援・コスト削減策の実施

②地域包括ケアシステムの実現 ②地域福祉の充実 ③各種福祉制度の充実

①地域医療体制の充実 ②健康づくり・生活習慣病予防の促進

①学校教育環境の整備 ②多様な教育・学習の充実

①生涯学習施設の充実 ②社会教育活動の推進 ③スポーツ活動の促進

①文化活動の充実・支援 ②文化財、歴史資源の発掘・保全・活用

①コミュニティ組織の確立 ②地域主体のまちづくり活動の推進

①域内・域外交流の充実 ②世代間交流の促進 ③国際交流の促進

①効果的・効率的な行政運営の推進 ②財政運営の健全化 ③公共施設等の適正化の推進

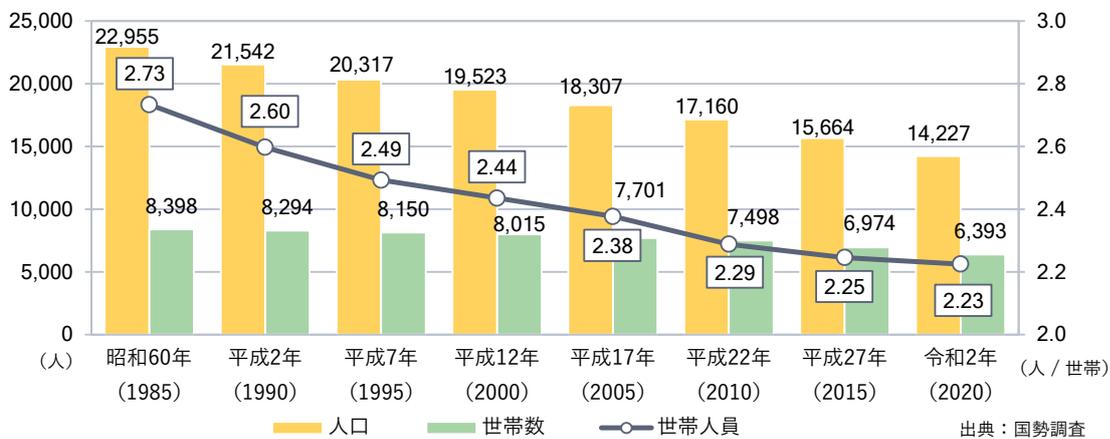
## 肝付町の人口の推移と人口目標

本町の人口は令和2年国勢調査によると14,227人であり、鹿児島県の総人口の約1.0%にあたります。昭和60年から一貫して減少を続けており、人口減少率は年々増加しています。また、世帯数も人口と同様に減少傾向を示しています。

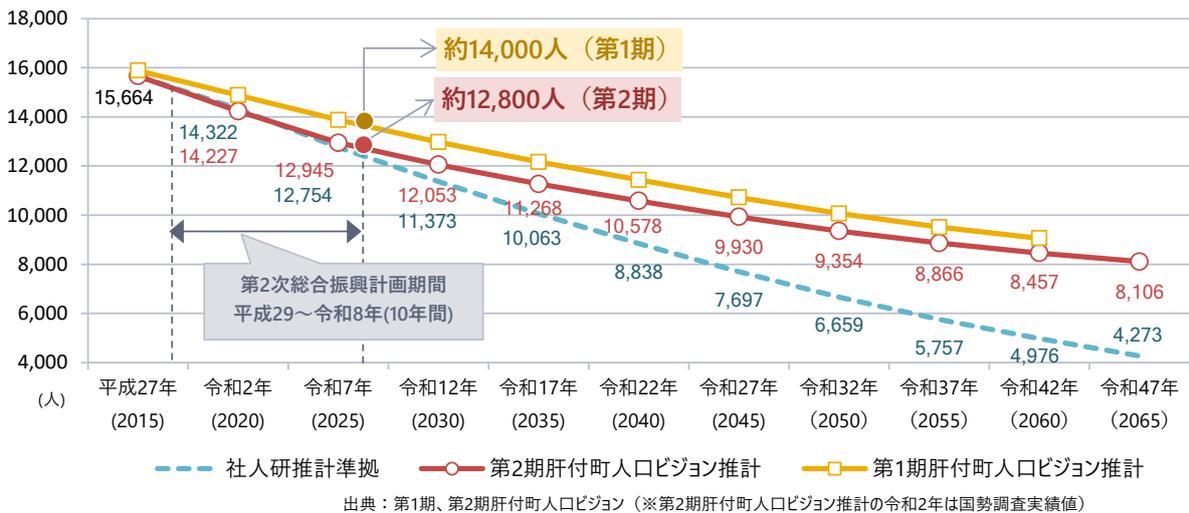
令和2年3月に策定された「第2期肝付町人口ビジョン」の社人研推計準拠（平成30年推計）における本町の令和47（2065）年の推計人口は4,273人であり、総合振興計画の目標年次である令和8（2026）年では約12,500人になると予測されています。

一方、人口減少抑制に向けた取組み実施を設定した場合、令和47（2065）年の推計人口は8,106人と、社人研推計と比較すると3,833人も増加が見込まれます。この人口目標から令和8（2026）年の人口を類推すると概ね**12,800人**と推計されており、これを後期基本計画における目標人口として設定します。

### ■人口・世帯数・世帯規模の推移



### ■肝付町の将来人口推計（将来展望）



## 第2次肝付町総合振興計画 後期基本計画 概要版



令和4年3月発行  
発行 肝付町  
鹿児島県肝属郡肝付町新富 98  
TEL 0994-65-2511